

# 大志を育む

令和3年5月27日



(教職員向け)  
教育委員会だより

No. 40

発行：北広島市教育委員会

## 小中一貫教育の深化・進化から真価へ

教育部理事 後藤 章夫

令和3年度がスタートし、2ヶ月が過ぎようとしています。各学校におかれましては、人事異動による新たな組織がスタートし、緊張感の中にも、やる気に満ちた日々をお過ごしのことと存じます。ただ、北海道に非常事態宣言が適用されるなど、新型コロナウイルス感染症の収束の見通しが未だ立たない状況です。そのような中、感染防止対策を徹底するために、そして、子どもたちの学びを保障するために、様々な対応や配慮をしていただいていますことに心より感謝申し上げます。

**「知行合一」** 令和3年度の業務遂行の姿勢として吉田教育長が示した言葉であり、北広島市小中学校校長会の令和3年度のテーマでもあります。知識と行為は一体であるべきであり、実践ができて初めて知が生きるという意味を持ちます。北広島市では、平成30年度から市内一斉に「小中一貫教育」がスタートしました。4年目となる今年度、本市において「小中一貫教育全国サミット」を開催します。まさにこれまでの「真価」が問われる年であり、知識と実践が一致していることを確認するチャンスであります。そして、そのことが北広島市の学校に勤務する全ての教職員の皆さんの自信と確信につながり、「大志をいだき 心豊かに たくましく 生きる子ども」の育成に向けて、小中一貫教育が今後も充実・発展していくことにつながると考えております。

残り多き一年になることを願い、これからも教職員の皆さんとともに一丸となって、更なる歩みを続けていきたいと考えております。どうぞよろしく願いいたします。

### ◎小中一貫教育 今年度の主な取組の重点

1. 多様な実践への挑戦と自校のスタイルづくり  
(例 教科の合同授業、小から中への乗り入れ授業、未実施教科の乗り入れ授業等)
2. 全国サミットの準備と実行、及び成果と課題の検証
3. 「GIGA スクール構想の実現」に向けたICTの効果的な活用
4. コミュニティ・スクールを基盤とした小中一貫教育の推進  
(西部中学校区・大曲中学校区・緑陽中学校区)

#### 学びをつなぐ

- 乗り入れ授業等校内体制の再構築
- 重点化の方策を位置づけた年間指導計画に基づく日常指導の実践
- 一人一台端末を生かしたICTの活用

#### 大志をつなぐ

- きたひろ夢ノートの活用と見直し・改善



#### 人と人をつなぐ

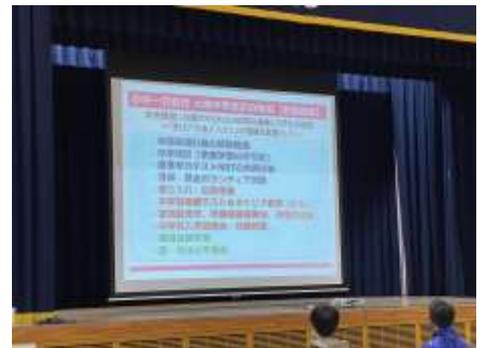
- 保護者・地域からの声を聞き取る場や方策の工夫
- 小中学校 PTA の連携した取組



# 大曲中学校区交流研修会

令和3年度がスタートし、今年度の大曲地区小中一貫教育を進めるにあたり、連休前の4月23日（金）に大曲中学校体育館で「大曲中学校区交流研修会」を開催しました。大曲小・大曲東小・大曲中の教職員が感染拡大防止策を十分に行った上で、今年度の方向性や、今後の活動予定、令和5年度の広教研中心校研究発表へ向けた確認事項等についての話し合いを行いました。

まず、事務局から昨年度までの取り組みについて説明があり、今年度も「継続するもの・見直していくもの」等について確認しました。また、これまで3校が独自に取り組んできた研究内容についても、令和5年度に予定されている研究発表会に向けて共通化を進めるべく、3校がそれぞれの特色を活かしながら大曲地区として育てたい子どもの姿を共有し、身につけさせたい資質能力等について確認しました。



大曲地区の小中一貫教育を進めていく上での「根幹」とも言える「大曲スタンダード」が今年度から新しいデザインに変わりました。4つの文言（あいさつ・へんじ・りつよう・ことば）は変更せず、時代の変化や、これまで取り組んできた成果等について再考し、補足説明を追記し、指導部会で検討した「新しい大曲スタンダード」として、今年度より各校で活用することとなりました。

過年度で設定している「大曲地区目指す子ども像」と共に今後の大曲地区小中一貫教育の根幹として、順次これまでの大曲スタンダードと張り替えながら、今年度中には新しいデザインの大曲スタンダードを大曲地区3校の教室へ掲示するとともに地域に発信する予定です。

